

剣道競技要項

- 1 期 日 令和4年10月22日(土)9時30分(8時45分 会場受付)
- 2 会 場 神戸市立中央体育館 競技場
- 3 新型コロナウイルス感染
拡大予防対応 ・全剣連ガイドラインなどに沿って実施します。
・自宅で検温し、37.5度以上の方や濃厚接触の可能性のある方等は参加不可です。
・必ずマスクを着用し、手指消毒も励行して下さい。
・参加者は別途「確認票」を記入し、入館時に各自提出して下さい。
・原則として選手・監督・マネージャー並びに大会関係者のみ入館とし、大会関係者以外(例えば、付き添いや見学者)は入館できません。
但し、10月上旬における感染症流行状況により、観客を受け入れることもあります。その場合は当連盟HP等で別途お知らせする予定です。
- 4 競技方法
 - ① 試合は公益財団法人全日本剣道連盟、剣道試合・審判規則・同細則及び本大会の申し合わせ事項により行う。
なお、中学生に関しては、突き技及び上段を禁止する。ただし、片腕の人の上段は認めるものとし、この上段への突き技は禁止する。
 - ② 各区代表チームを3ブロック(又は必要に応じて2ブロック)に区分して予選リーグ戦を行い、各ブロックの1位チームによる決勝リーグ(又は2ブロックのときは決勝トーナメント)を行う。
なお、予選リーグ戦等の組合せは大会本部一任とする。
 - ③ 試合時間は、小学生2分、中学生・女子・高校生3分、一般4分とし、試合時間内に勝敗の決しない場合は引き分けとする。代表戦は時間無制限とする。
 - ④ 試合は3本勝負とする。
 - ⑤ 勝敗の決定は勝者数法とし、勝者同数の場合は総本数の多い方を勝ちとする。
総本数が同数の場合は代表戦によって勝敗を決する。
ただし、代表戦は30歳代以上の選手による1本勝負とする。
- 5 参加資格
 - ① 当該区に在住、在勤、在学、道場在籍のいずれかに該当する者。(予選大会時点)
 - ② 次の6に示す選手構成の各区分に該当する者。
※各区の責任者は上記①及び②につき、必ず本人に確認しておくこと。
- 6 選手構成
 - ①小学生(原則5または6年生):女子1名・男子1名
 - ②中学生:女子1名・男子1名
 - ③女子:高校生以上2名 ④男子:高校生1名
 - ⑤一般:15歳以上30歳未満(中・高校生を除く)3名
 - ⑥30歳代:3名 ⑦40歳以上:2名 合計15名で構成する。
ただし、警察官(県警本部剣道特別訓練員は除く)は2名以内とする。

※⑤、⑥に各欠員が生じる場合には、より高年齢区分の選手を年齢順に出場させることができる。
※4年生以下の小学生を出場させる場合は、試合開始までに試合場の審判主任に届け出る。
※年齢区分は令和4年4月1日現在で算定する。

7 表 彰 第三位まで表彰する。

8 メンバー変更 大会当日の選手の交代を認める。各試合場の審判主任に申し出る。
一度交代した選手の再出場は認めない。

9 オーダー表 試合当日、各区は下記の様式によるオーダー表を作成し、各試合場に提出する。

※は 13cm×16 枠 (模造紙の長辺を 4 等分にカットしたものを 6 等分し、のり代一枠として 3 枚使う)

○	先鋒	14 将	13 将	12 将	11 将	10 将	9 将	8 将	7 将	6 将	5 将	4 将	3 将	副将	大将	↑ 約 28cm ↓
○	神	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
区	戸	字	字	字	字	字	字	字	字	字	字	字	字	字	字	

←208cm→

※オーダー表は 6 の選手構成の順 [先鋒 (小学生女子)、14 将 (小学生男子) ……] に記入のこと。

10 剣道競技要項に違反する場合には、大会本部において協議した上で、違反者の試合のみを 2 本負けとするか、チームの負けとするかを決定する。

11 救 護 負傷、急病について応急の措置はするが、それ以外の責任は負わない。なお、当連盟において普通傷害保険に加入している。

12 コロナ禍における暫定的措置

マスクとシールドを正しく装着していない選手は出場できません。

(マスクは口鼻を隠す。シールドは口を覆うもの必須、目を覆うものは自由とする。)

また、試合上における暫定的措置としては、次のとおりです。

- ① つば(鐔)競り合いを避けること。
- ② つば(鐔)競り合いになった瞬間に技が出ない場合には、審判員の「分かれ」の宣告を待つのではなく、試合者双方でただちに積極的に分かれる。
- ③ 分かれる場合は剣先が完全に触れない位置まで互いに分かれる。
- ④ 分かれる場合は剣先を開いたり、下げて分かれぬ。また、分かれる途中で、相手の竹刀を「叩いたり」、「巻いたり」、「逆交差」をしない。
- ⑤ 分かれる場合は双方がバラバラに下がらない。双方同じ気位で互いの鐔を削るようにして分かれる。
- ⑥ 相互に分かれようとしている途中で技を出さない。この場合は技を出しても有効打突とはしない。一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突した場合や分かれようと思わせて打突する行為は反則を適用する場合がある。

13 問い合わせ先

ホームページアドレス <http://www.kobe-kendo.org/> (神戸市剣道連盟)